

飼料用イネに代わり乾田で夏季に 栽培できる1年生飼料作物スーダングラス

- 令和6年能登半島地震により、用水路の損壊等が生じると飼料用イネの作付けが困難になることがあります。そこで夏季の代替作物として、乾田で栽培でき、夏季の高温下で速やかに成長するため、雑草との競合を軽減できる1年生の飼料作物であるスーダングラスを紹介します。
- スーダングラスの散播栽培では、飼料用イネ（稲WCS）と同じロールベール収穫体系を適用できます。また、スーダングラスは、稲WCSと同程度の栄養価です。
- スーダングラスは、生育初期には家畜に有害な青酸を蓄積し、また、過肥や早刈りで家畜に有害な硝酸態窒素濃度が高くなるため草丈1.5m以上～出穂始期に収穫して下さい。
- 収穫物については、畜産経営者等と事前にご相談いただき、計画的な作付けをご検討ください

【品種】石川県の奨励品種：ハイダン（早生）、マーベーター細茎（早生）
近県の奨励品種：いつでもスダン、スプリント、パイルー、バールスダン、ロールサイトBMR）
【播種量】（ロール用）散播：6～8kg/10a
【施肥量】 牛糞堆肥：2,000～4,000（kg/10a）
窒素：8～10、リン酸：0～5、カリ：－（kg/10a）
牛糞堆肥を使用しない場合
窒素：10、リン酸：10、カリ：10（kg/10a）

	5月	6月	7月	8月	9月	10月
梅雨前播種	●	●	×	×	×	×
梅雨明け後播種			●	●	×	×

● 播種（最低気温10℃以上） × 収穫（出穂すると茎が硬化）

図 スーダングラスの播種～収穫（北陸）



（参考文献 気象リスクに対応した安定的な飼料作物生産技術の開発 技術紹介パンフレット
3. 気象リスク被害を低減するスーダン型ソルガムの2回刈り栽培）

（参考URL https://www.naro.go.jp/publicity_report/publication/files/kisho-risk-shiryo3.pdf）

問い合わせ先：農研機構九州沖縄農業研究センター広報チーム 096-242-7530